

常磐公園植栽計画

市民ワークショップ (第3回)

平成26年12月2日(火)
旭川市役所 旭川市保健所1階講座室

主催：旭川市

0. 本日のプログラム

- ・ 18:30 開会 (5分)
- ・ 18:35 オリエンテーション 現在 (5分)
- ・ 18:40 資料説明 (15分)
- ・ 18:55 全体討議 (60分)
- ・ 19:55 今後の予定 (5分)
- ・ 20:00 閉会

1. オリエンテーション

- 1- 1 ワークショップの目的
- 1- 2 ワークショップの全体スケジュール
- 1- 3 前回ワークショップの振り返り
- 1- 4 前回ワークショップで出た意見A①
- 1- 5 前回ワークショップで出た意見A②
- 1- 6 前回ワークショップで出た意見A③
- 1- 7 前回ワークショップで出た意見B①
- 1- 8 前回ワークショップで出た意見B②
- 1- 9 前回ワークショップで出た意見B③
- 1-10 今日の進め方

1. オリエンテーション

1-1. ワークショップの目的

常磐公園のみどりをより良くして
行く方法を考える。

将来の常磐公園を考え…

どんなみどりを復元するため

どこに、
どんな樹種を、
いつ、
どうやって植えるか。

植栽計画

について考える。

1. オリエンテーション

1-2. ワークショップの全体スケジュール

第1回

○将来の常磐公園を考える。

9/9
終了

第2回

○植栽場所について考える。
復元目標について考える。

10/21
終了

第3回

○植栽方法について考える。

今回

第4回

○計画について確認する。

植栽場所の実施設計

1. オリエンテーション

1-3. 前回ワークショップの振り返り

日時 : 平成26年10月21日(火) 18:30~20:15

会場 : 旭川市保健所1階講座室

参加者 : 地域住民 12名、 専門家 2名
事務局 7名、 計21名

討議テーマ: **現地を知った感想**

植栽場所の復元方針

1. オリエンテーション

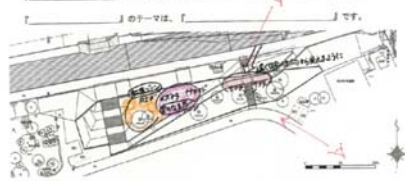
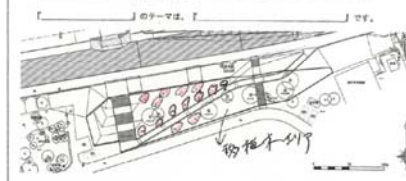
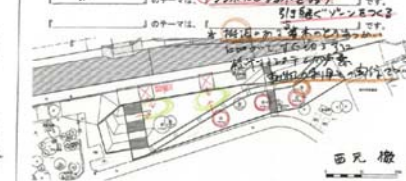
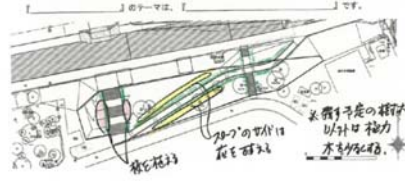
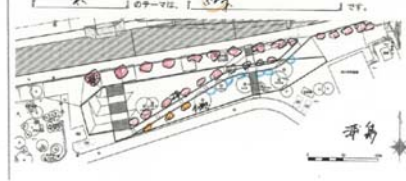
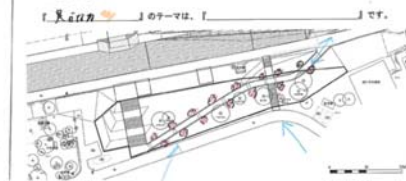
1-4. 前回ワークショップで出た意見A①

- 文学小径とか草花の小径とかテーマ小径には。
 - 移植はお金がかかる。苗木を植えた方が良い。
 - 新たな植栽木は少数本で良いと感じた。
 - 公園が見えない。
 - どこからもみえる、緑だけではない景観。
- 旭川の文学物語のみち。
 - 旭川の多くの種を植える。サクラが少ない。
 - 季節感、緑の中に桜とイタヤカエデなどを入れた森。
 - 外国の木は入れて欲しくない。サクラもいいがその他の木も。
 - エゾリス等の動物が大切。それを支える植物もいる。
 - ドロノキは動物が使うが危険。折り合いをつけた管理を。
 - 市民を巻き込んで植栽をしてほしい。
 - 残す木は将来のことを考えて選定する。
 - 管理をして木の配置をして欲しい

1. オリエンテーション

1-5. 前回ワークショップで出た意見A②

(6つの案メモ)

<p>■全体方針： 私は、ここを「<u>原野</u>」な空間にしたい。</p> <p>■ゾーン別の意見テーマ： 「<u>全体</u>」のテーマは、「<u>遠くからここを見えなくとも良い</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u> </u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u> </u>」です。</p> 	<p>■全体方針： 私は、ここを「<u>歴史を伝える(歴史の森)</u>」な空間にしたい。</p> <p>■ゾーン別の意見テーマ： 「<u>ゾーン全体</u>」のテーマは、「<u>イタヤカエデ(中木の花)</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u> </u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u> </u>」です。</p> 	<p>■全体方針： 私は、ここを「<u>市民が1+4(百つくりから)</u>」な空間にしたい。</p> <p>■ゾーン別の意見テーマ： 「<u>場所</u>」のテーマは、「<u>季節感とゾーンの設置</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u>ランドルと木を植える</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u>引き継ぐゾーンのつづき</u>」です。</p> 
<p>■全体方針： 私は、ここを「<u>景観を大事にする</u>」な空間にしたい。</p> <p>■ゾーン別の意見テーマ： 「<u>既存のゾーンの</u>」のテーマは、「<u>苗木、花、樹を大切に</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u> </u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u> </u>」です。</p> 	<p>■全体方針： 私は、ここを「<u>歴史を伝える(歴史の森)</u>」な空間にしたい。</p> <p>■ゾーン別の意見テーマ： 「<u>森</u>」のテーマは、「<u>樹</u>」です。 「<u>原</u>」のテーマは、「<u>草花</u>」です。 「<u>水</u>」のテーマは、「<u>水</u>」です。</p> 	<p>■全体方針： 私は、ここを「<u>市民が1+4(百つくりから)</u>」な空間にしたい。</p> <p>■ゾーン別の意見テーマ： 「<u>場所</u>」のテーマは、「<u>季節感とゾーンの設置</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u>ランドルと木を植える</u>」です。 「<u> </u>」のテーマは、「<u>引き継ぐゾーンのつづき</u>」です。</p> 

1. オリエンテーション

1-6. 前回ワークショップで出た意見A③

	全体方針	ゾーン毎の復元テーマ						備考
		ゾーン①	復元テーマ①	ゾーン②	復元テーマ②	ゾーン③	復元テーマ③	
まとめ	百年かけて育つ、楽しめるような	全体	種数・花、季節・動植物に配慮	スロープ	テーマのある小径を、景観を	植栽整理	整理・移植or新植・活動づくり	
a	桜の並木と紅葉で季節感のある	全体	春 桜 夏 白い花 秋 紅葉	—	—	—	—	—
b	旭川の文学の心の小径をしのぶような	全体	樹がある、草木が咲く、実がなる	—	—	—	—	—
c	景観を大事に堤防から公園が良く見えるように	階段 スロープ	低木、花、桜を中心とする	—	—	—	—	残す予定の樹木以外は極力木を少なく
d	遠くからもここが見える美しく楽しい木々	サクラゾーン	サクラ	実のなる木ゾーン	ミズナラ、ナナカマド	紅葉ゾーン	カエデ	遠く(橋の方向)から見えるように
e	堤防を活用した眺望のよい	全体	エゾヤマザクラ(中径木の植栽)	—	—	—	—	—
f	旭川市民が1年から参加し百年かけて育てる歴史をつくり残す	適所に	市民が苗づくりから参加できるゾーンを設置	適所に	シンボルとなる木を護り、引き継ぐゾーンをつくる	—	—	古木の取り扱いについてすぐに切らずに検討するシステムが必要

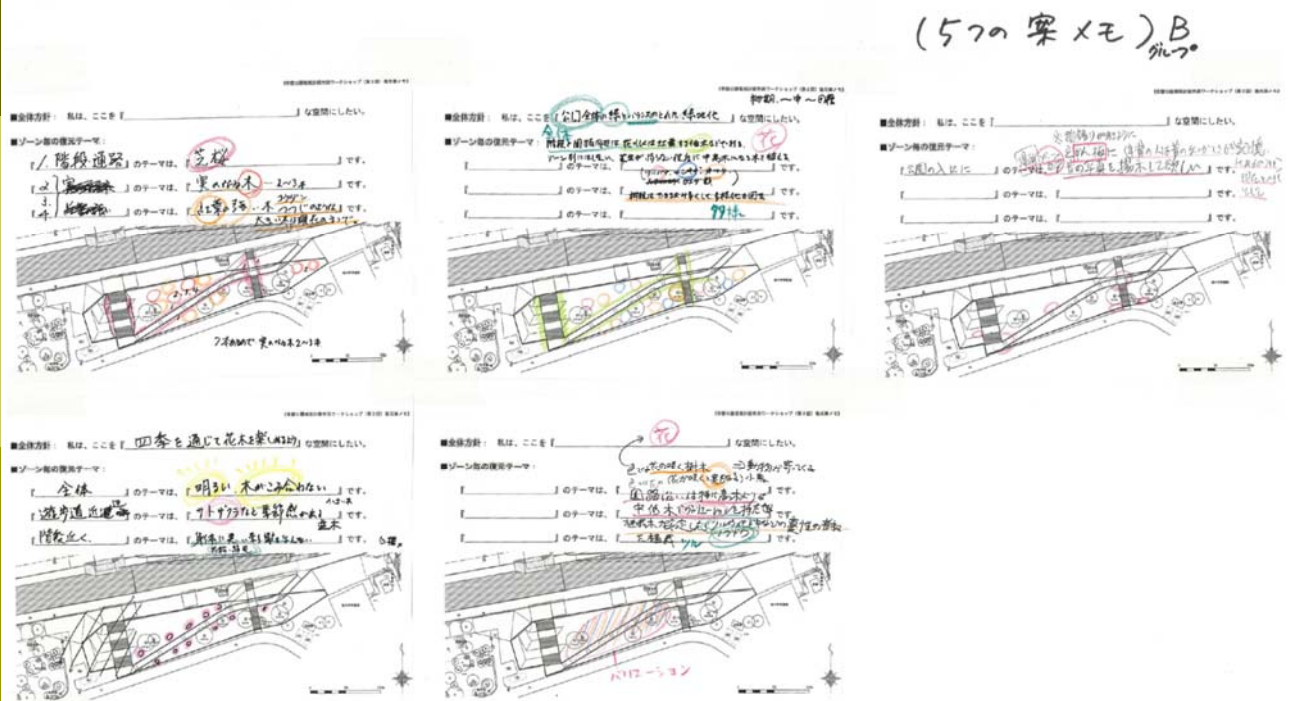
1. オリエンテーション

1-7. 前回ワークショップで出た意見B①

- 子供の頃のすばらしいと感じていたイメージと変化なし。
- 現地は雑然とした印象。管理していない場所。
- 空が見える空間。四季を通じて花木を楽しめる空間にしたい。
- 公園の一部として考え、周囲の空間と馴染ませる。
- 樹種の多様性も持たせることが大切。食草を残す。
- 樹種選びは樹種の成長に応じて先駆性・持続性種の双方をいれる。
- 花の咲く木を全体に入れる。
- 植樹木は保全木の外に+2~3本程度でよいのではないか。
- ソル植(ノブドウ等)でバリエーションをつける。
- スロープ沿いは車いすの目線で考える。
- 園路沿いは低木、花を植栽。彩りをつける。
- 紅葉の木、実のある木を植えて欲しい。
- どの入口から入ってもわかるサインが必要。今昔がわかる説明。
- 周辺からの動線の検討が必要。

1. オリエンテーション

1-8. 前回ワークショップで出た意見B②



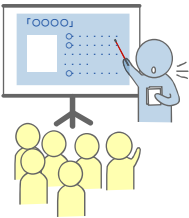
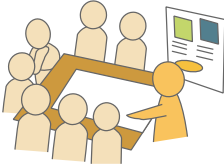


1. オリエンテーション

1-9. 前回ワークショップで出た意見B③

	全体方針	ゾーン毎の復元テーマ						備考
		ゾーン①	復元テーマ①	ゾーン②	復元テーマ②	ゾーン③	復元テーマ③	
まとめ	公園と調和した花咲く	全体	早期緑化、計画的な管理、疎林	園路沿い	低木、花、紅葉、サクラ、並木	その他	調和、実のつく、多様、ツル	
a	—	1. 階段・通路	芝桜	2. 3. 4 その他	紅葉の強い木 大きい木は現在のまま	—	—	—
b	公園全体の緑とバランスのとれた緑地化	全体	芝生が弱らない程度に中高木を植える 樹種はできるだけ多く	階段と園路周辺	階段と園路周辺は花、もしくは紅葉する低木などで彩る	—	—	ゾーン別にはしない 初期～中期～回復(段階的な復元)
c	四季を通じて花木を楽しむよう	全体	明るい、木がこみ合わない小さい木	遊歩道近辺	サトザクラなど季節感が出る並木	階段近く	身体に悪い影響を与えない	—
d	色々な花の咲く樹木→動物(小鳥)が寄ってくる	園路沿い	高木よりは中低木でバリエーションを持たせる	その他の空間	植栽木が安定したら蔓性の樹木を植栽	—	—	—
e	—	公園の入り口	ゾーン毎に昔の写真を見板に掲示して欲しい	—	—	—	—	—

1. オリエンテーション

1-10. 今日の進め方

5分 オリエンテーション	15分 説明	60分 意見交換	総括
18:35~18:40	18:40~18:55	18:55~19:55	19:55
<p>今日の ・目標 ・進め方 の説明</p> <p>現在</p>	<p>・植栽計画 (素案) について説明</p> 	<p>全体で意見 交換</p>  <p>全体で意 見をとりま とめ</p>  <p>・テーマ、植栽方針 の修正 (植栽樹種、配植等)</p> 	<p>今後 の 予定 等</p>

2. 植栽計画(素案)について

- 2- 1 A-1案植栽方針
- 2- 2 A-2案植栽方針
- 2- 3 A-1案ゾーニング図
- 2- 4 A-1案平面図
- 2- 5 A-2案ゾーニング図
- 2- 6 A-2案平面図
- 2- 7 A案植栽種
- 2- 8 B案植栽方針
- 2- 9 B案ゾーニング図
- 2-10 B案平面図
- 2-11 B案植栽種

2. 植栽計画(素案)について

2-1. A-1案植栽方針

- 基本方針:「百年かけて育つ・楽しめるような空間」
- ゾーンとテーマ
- 園路沿い **スロープゾーン「サクラと文学の小径」**
スロープ沿いはサクラや低木を中心に彩りをつける。
- 四阿側斜面 **動物配慮ゾーン「実の成るゾーン」**
動物の食樹や実のなる樹種を植栽する。
- 西斜面 **秋の美しさゾーン「モミジゾーン」**
広い階段周辺に、紅葉の美しい修景木を植栽する。
- 公園側斜面 **市民が育てるゾーン「花と緑のゾーン」**
多様な花や緑を混植する。市民の花壇スペースを確保する。
- 東斜面 **動物配慮ゾーン「育てるゾーン」**
大木になり将来動物の住処となる植栽を育てる空間を確保する。
- 全体 周囲からこの景観・ここからの景観に配慮

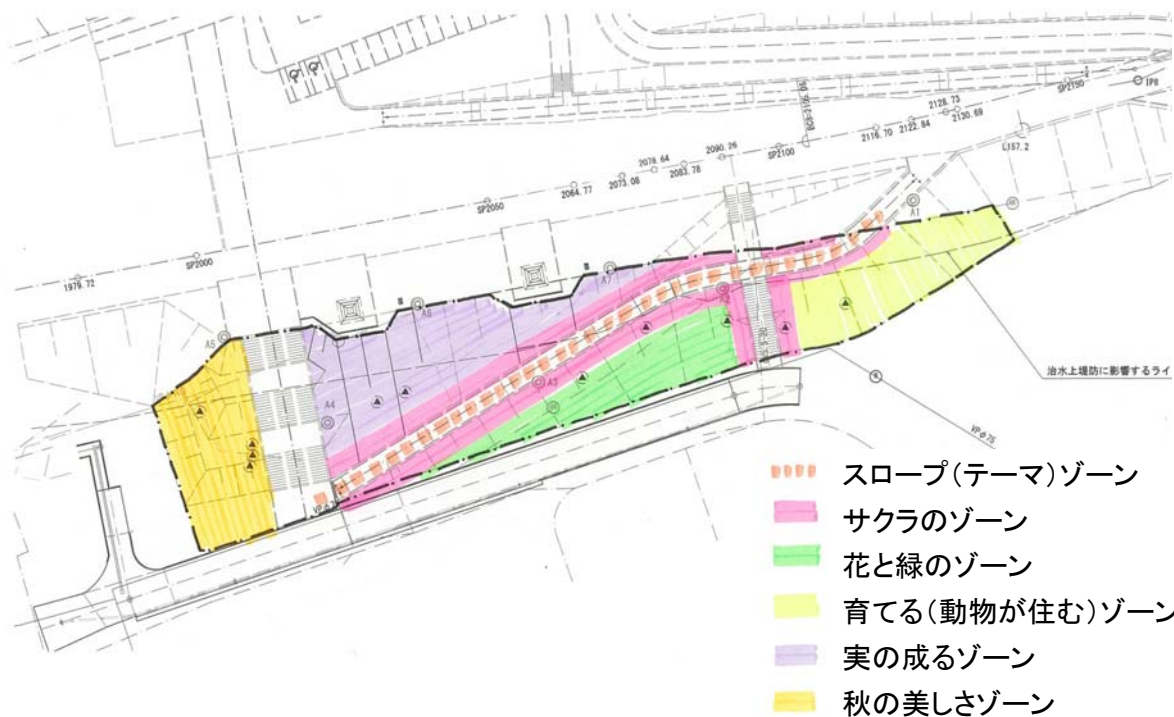
2. 植栽計画(素案)について

2-2. A-2案植栽方針

- 基本方針:「百年かけて育つ・楽しめるような空間」
- ゾーンとテーマ
- 園路沿い **スロープゾーン「四季と文学の小径」**
スロープ沿いは四季の変化を楽しめるように「モミジゾーン」と「実のなるゾーン」で構成する。
- 階段沿い **階段サクラゾーン「階段サクラゾーン」**
サクラを中心に高低差を活かした立体的景観を楽しむ空間とする。
- 公園側斜面 **市民が育てるゾーン「花と緑のゾーン」**
多様な花や緑を混植する。市民の花壇スペースを確保する。
- 東斜面 **動物配慮ゾーン「育てるゾーン」**
大木になり将来動物の住処となる植栽を育てる空間を確保する。
- 全体 周囲からこの景観・ここからの景観に配慮

2. 植栽計画(素案)について

2-3. A-1案ゾーニング図



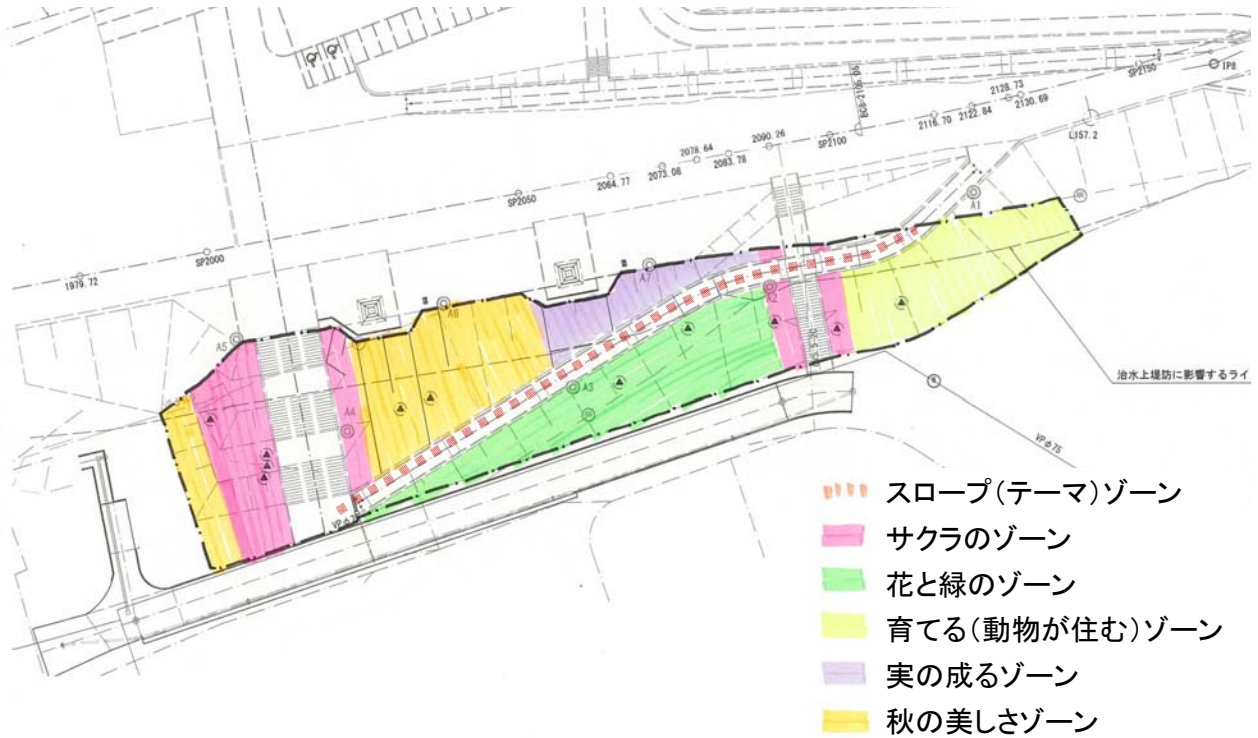
2. 植栽計画(素案)について

2-4. A-1案平面図



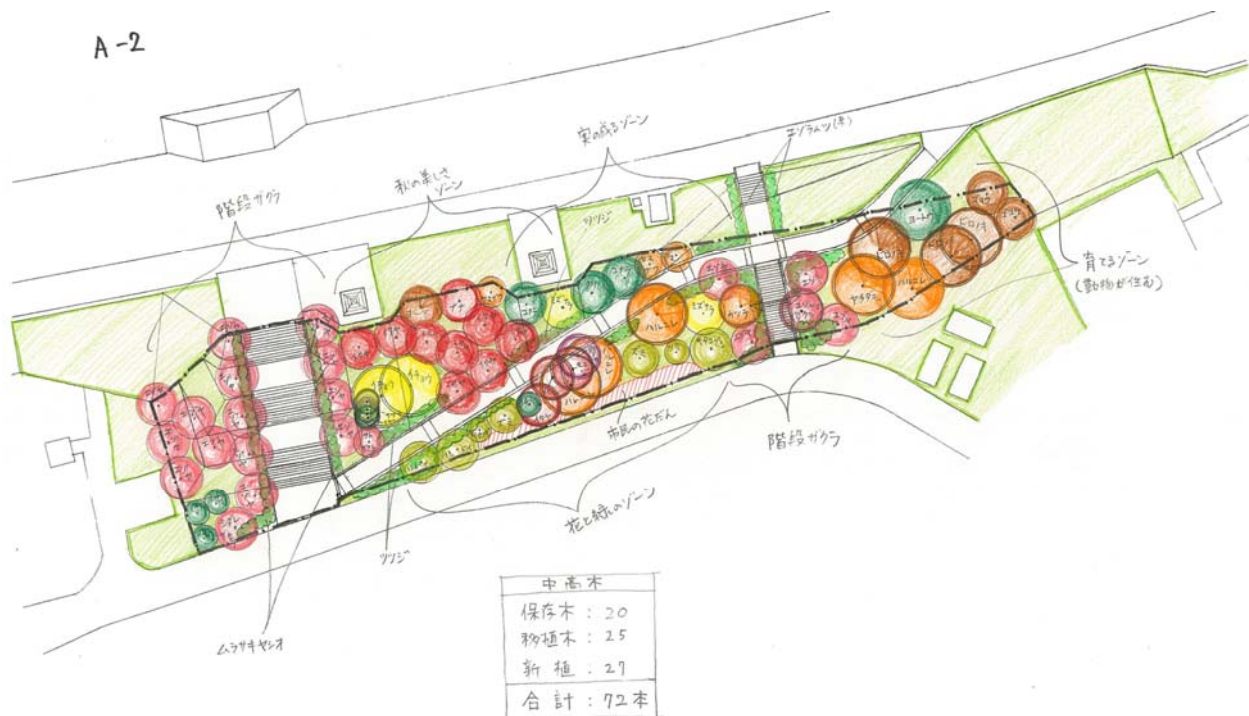
2. 植栽計画(素案)について

2-5. A-2案ゾーニング図



2. 植栽計画(素案)について

2-6. A-2案平面図



2. 植栽計画(素案)について

2-7. A案植栽種

ゾーン	植栽種
市民が育てるゾーン	ハルニレ/カツラ/ハシドイ/タニウツギ/ズミ/キタコブシ/ミズナラ/ヤマグワ/ツリバナ/イチイ
動物配慮ゾーン	ヤチダモ/ドロノキ/ハルニレ/カツラ/ヨーロッパパトウヒ/ヨーロッパアカマツ/チョウセンゴヨウ/ミズナラ/イタヤカエデ/ヤマグワ/クリ/ガマズミ
サクラゾーン	エゾヤマザクラ/サトザクラ/シダレザクラ/エゾムラサキツツジ/ムラサキヤシオ
モミジゾーン	ナナカマド/イタヤカエデ/ミズナラ/ヤマグワ/イチョウ/ヨーロッパアカマツ

※赤字は在来種、青字は旭川における外来種

2. 植栽計画(素案)について

2-8. B案植栽方針

- 基本方針:「公園全体と調和した彩りあふれる空間」
- ゾーンとテーマ
 - 階段・園路沿い 修景ゾーン「彩りの路」
サクラ類、花や紅葉の美しい低木で彩りをつける。
 - 中央部 景観配慮ゾーン「空と花の広場」
道や休憩所から視界に入る空間は、景観に配慮する。
高木で緑のボリュームを出し、園路に木陰をつくる。
高木の中に中木の修景木(ナナカマド、モミジ等)を植栽する。
比較的まばらに植栽し、樹間を目線が通るようにする。
 - 端部 動物配慮ゾーン「実りの森」
道や休憩所から視界に入りにくい範囲は、動物の住処とする。
動物の食樹や実のなる樹種を植栽する。
 - 全体 先駆性樹種の混植、つる植物の使用、案内板の配置

2. 植栽計画(素案)について

2-9. B案ゾーニング図



2. 植栽計画(素案)について

2-10. B案平面図



2. 植栽計画(素案)について

2-11. B案植栽種

ゾーン	植栽種
修景 「彩りの路」	階段沿い：エゾヤマザクラ/ミヤマザクラ/シウ リザクラ/ヤエザクラ/シダレザクラ 園路沿い：エゾムラサキツツジ/ムラサキヤシオ /ニシキギ/ドウダンツツジ/シバザクラ
景観配慮 「空と花の 広場」	基本樹種：ハルニレ/カツラ/イタヤカエデ/シナ ノキ/ドロノキ/イチョウ/ヨーロッパトウヒ 修景木：ナナカマド/アズキナシ/ズミ/ハシドイ /キタコブシ/ハウチワカエデ/ヤマモミジ/ミズ キ/マユミ/ツリバナ/カンボク/ガマズミ/オオカ メノキ/タニウツギ/エゾニワトコ/イチイ/
動物配慮 「実りの森」	ヤチダモ/ドロノキ/ミズナラ/オニグルミ/ヤマグ ワ/イチイ/トドマツ/ナナカマド/ホオノキ/イタ ヤカエデ/オオバボダイジュ/ハシドイ/アキグミ

※赤字は在来種、青字は旭川における外来種

3. その他

- 3- 1 上位計画
- 3- 2 植栽樹種の特徴(基本種)
- 3- 3 植栽樹種の特徴(添景種①)
- 3- 4 植栽樹種の特徴(添景種①)
- 3- 5 動物の植樹・実のなる木
- 3- 6 つる植物のタイプ
- 3- 7 主なつる植物(木本類)
- 3- 8 植栽密度の設定
- 3- 9 樹木の管理
- 3-10 市民参加

3. その他

3-1. 上位計画(緑の計画)

常磐公園の 緑の計画 (H24.8)

テーマ:みどりを
守り育てる。

○基本的観点
安全性、快適性、
景観、生態系

次の100年を見据え、
次の時代に向けた樹
木の更新を図っていく。

■樹種の選定に関して

- ① 現況の樹種を土台に北海道や旭川市周辺の環境に適した**多様な郷土樹種**
- ② 四季を通じて楽しむことのできる**花木、紅葉木、常緑樹**など
- ③ 生きものや景観に配慮した多様な樹種
森林としての**寿命のバランス**が上手くとれるような樹種

■樹木の配置に関して

- ④ **密植を避け**植物が生長できる空間が確保できるような配置
- ⑤ **死角や暗がり**ができないような防犯面に配慮した配置
- ⑥ 樹種に合わせた**適正な樹木の間隔**で配置

■樹種の選定、樹木の配置に関して

- ⑦ 花粉、綿毛、日照障害など、**近隣への影響や迷惑**を与えない
- ⑧ 枯れ枝の処理などが困難な高木は、**樹林のアクセント**として配置

3. その他

3-2. 植栽樹種の特長(基本種)

樹種区分		在来種	外来種
永続性の長い樹種	針葉樹	◎トドマツ 中 ◎アカエゾマツ 小	○イチョウ(落葉) 大 ○チョウセンゴヨウ 大 ○ヨーロッパクロマツ 大 ◎ヨーロッパアカマツ 中 ◎プンゲンストウヒ 小
	広葉樹	○ハルニレ 大 ○ヤチダモ 大 ◎イタヤカエデ 中 ◎オオバボタイジュ 中 ◎シナノキ 中 ◎カツラ 中 ◎ミズナラ 中	△プラタナス 大
生長の早い樹種	針葉樹		△ヨーロッパトウヒ 大 △カラマツ(落葉) 中
	広葉樹	△ドロノキ 大 △シラカンバ 中 △ケヤマハンノキ 中	△シダレヤナギ 大 △ニセアカシア 大 △ポプラ 大 △シンジュ 大 △ネグンドカエデ 中

参考:市街地に設置する公園における植栽設計指針(2006,札幌市)

小中大:樹冠の大きさ

◎:問題の起きにくい樹種

○:スペースの確保が必要な樹種

△:配慮が必要な樹種

※ピンク字は園内生育数の多い種

※生長の早い外来種は、新規には植栽しない。

3. その他

3-3. 植栽樹種の特性(添景樹①)

樹種区分		在来種	外来種		
花	白	ホオノキ	大	ハリエンジュ	大
		キタコブシ	中	ハクモクレン	小
		ミヤマザクラ	中	スモモ	小
		ナナカマド	中	ドウダンツツジ	低
		アズキナシ	中		
		ズミ	中		
		ミズキ	中		
		ハクウンボク	中		
		カンボク	小		
		オオカメノキ	小		
	ノリウツギ	小			
	イボタノキ	低			
	紅	エゾヤマザクラ	中	サトザクラ	小
タニウツギ		小	シダレザクラ	小	
ムラサキヤシオ		低			
黄	イヌエンジュ	中			
	ハシドイ	中			
紫	エゾムラサキツツジ	低	ライラック ラベンダー	小 低	

参考:市街地に設置する公園における植栽設計指針(2006,札幌市)
北海道の緑化樹(北海道造園建設業協会,1996)
北海道樹木図鑑(佐藤,1990)

小中大:樹冠の大きさ(低は低木)

※ピンク字は園内生育数の多い種

3. その他

3-4. 植栽樹種の特性(添景樹②)

樹種区分		在来種	外来種		
紅葉	紅	エゾヤマザクラ	中	サトザクラ	小
		ナナカマド	中	シダレザクラ	小
		アズキナシ	中		
		ヤマモミジ	中		
		ハウチワカエデ	中		
		マユミ	小		
		ツリバナ	小		
		オオカメノキ	小		
		ツツジ類	低		
		ニシキギ	低		
	黄	ヤチダモ	大	イチョウ(落葉)	大
		イタヤカエデ	中	ポプラ	大
		シナノキ	中	ネグンドカエデ	中
		オオバボダイジュ	中		
		ミズナラ	中		
		カツラ	中		
		キハダ	中		
		ヤマゲワ	小		
		シラカンバ	中	ヨーロッパアカマツ	中

参考:市街地に設置する公園における植栽設計指針(2006,札幌市)
北海道の緑化樹(北海道造園建設業協会,1996)
北海道樹木図鑑(佐藤,1990)

小中大:樹冠の大きさ(低は低木)

※ピンク字は園内生育数の多い種

3. その他

3-5. 動物の食樹・実のなる木

部位	樹種	捕食者
葉	ハルニレ	ヒオドシチョウ、カラスシジミ
	サクラ類	エゾシロチョウ
	カエデ類	ミスジチョウ
	シナノキ	オオシロシタバ
	ドロノキ	オオイチモンジ
幹・枝	ヤナギ類	カミキリ類
樹液	ヤナギ類	甲虫類、コムラサキ
	ミズナラ	甲虫類、タテハチョウ類
タネ	球果	チョウセンゴヨウ、ストローブマツ
	堅果	エゾリス、ネズミ類、鳥類
	堅果	ミズナラ、カシワ
	堅果	エゾリス、ネズミ類、タヌキ、鳥類
	殻果	オニグルミ
	殻果	エゾリス、ネズミ類
	袋果	ホオノキ、キタコブシ
	袋果	鳥類
	核果	サクラ類、ガマズミ
	核果	鳥類
豆果	イヌエンジュ	
豆果	鳥類	
ナシ状化	ナナカマド、アズキナシ	
ナシ状化	鳥類	
蒴果	マユミ、ツリバナ、ニシキギ	
蒴果	鳥類	
集合果	ヤマゲウ	
集合果	その他哺乳類	

参考：昆虫の食草・食樹ハンドブック(森上・林, 2007)、日本産蝶類幼虫食草一覧(仁平, 2004)

3. その他

3-6. つる植物のタイプ

つる植物は上り方により複数のタイプに分けられる。

タイプ	巻き付き	気根	まきひげ	吸盤
登り方	ツル自体が絡みつく	枝から出た気根により付着	巻きひげを絡みつける	巻きひげの先が変形した吸盤で付着
登るための部位	ツル自体 	気根 	巻きひげ 	吸盤 
主な樹種	サルナシ、マタタビ、アケビ類	ツルマサキ、ツルアジサイ	ヤマブドウ、ノブドウ	ツタ

出典：ツル性木本による壁面緑化について－北海道に自生する6樹種による事例－(棚橋, 2007)

3. その他

3-7. 主なつる植物(木本類)

ツルアジサイ、イワガラミを保全木の周辺に混植する。

種名	常落	タイプ	樹木害	市場性	備考	利用
ツルアジサイ	落葉	気根	なし	○	花	◎
イワガラミ	落葉	気根	なし	○	花	◎
サルナシ(コクワ)	落葉	巻き付き	有り		果実	
ミヤマタタビ	落葉	巻き付き	有り	○	果実	
マタタビ	落葉	巻き付き	有り		果実	
ツルウメモドキ	落葉	巻き付き	有り	○	果枝	
ツルマサキ	常緑	気根	なし		果枝	
ヤマブドウ	落葉	巻きひげ	有り		果実	
ツタウルシ	落葉	気根	なし		かぶれ	
チョウセンゴミシ	落葉	巻き付き	有り		果実	

参考:地球環境に優しい道路緑化樹—その植え方と育て方—(齊藤, 2010)

3. その他

3-8. 植栽密度の設定

園内の生育密度を勘案し、目標密度を200~300本/haとする。 $(200\sim 300\text{本/ha} \times \text{植栽範囲}0.33\text{ha} = 66\sim 99\text{本})$

	緑地面積 (㎡)	全本数		直径20cm以上のみ		(参考)
		本数 (本)	密度 (本/ha)	本数 (本)	密度 (本/ha)	
1	9,610	216	225	129	134	○スギ人工林 植栽時:3,000本/ha ⇒60年後:750本/ha 90年後:460本/ha 「長伐期施業の進め方」(千葉県, 2013) ○森林の生育密度 500~1000本/ha みどりのボリューム の早期回復を図るた め、将来の伐採を前 提に先駆性樹種(シラ カンバ等)の混植を検 討する。
2	14,300	563	394	197	138	
3	8,840	181	205	126	143	
4	21,130	544	257	254	120	
5	10,850	288	265	147	135	
6	11,190	603	539	183	164	
(6-1)	5,660	335	592	42	240	
7	1,750	87	497	49	243	
8	2,020	105	520	10	52	
9	1,910	48	403	129	134	
全体	80,880	2,635	326	197	138	

3. その他

3-9. 樹木の管理

樹木の生育、枯損状況を確認しながら、その**結果に応じた管理(順応的管理)**を行う。

植栽当初は**先駆性樹種を混植**し、みどりの量を確保。

	植栽直後	20年後	50年後	100年後
成長イメージ				
管理メニュー	除草 補植 支柱除去	補植 剪定 早生樹種の除去	剪定 危険木除去	剪定 危険木除去 更新樹木植栽
備考	早生樹種を混植	生育密度を確認	危険木診断	危険木診断

3. その他

3-10. 市民参加

- ガーデンボランティア**
 常磐公園中央花壇で実施中
 花壇の花の手入れや除草
 (月1~2回、1回2時間程度)



- 協働による森づくり**
 樹木の苗づくり~植樹~監視・
 管理等公園整備への参加を
 呼びかける。



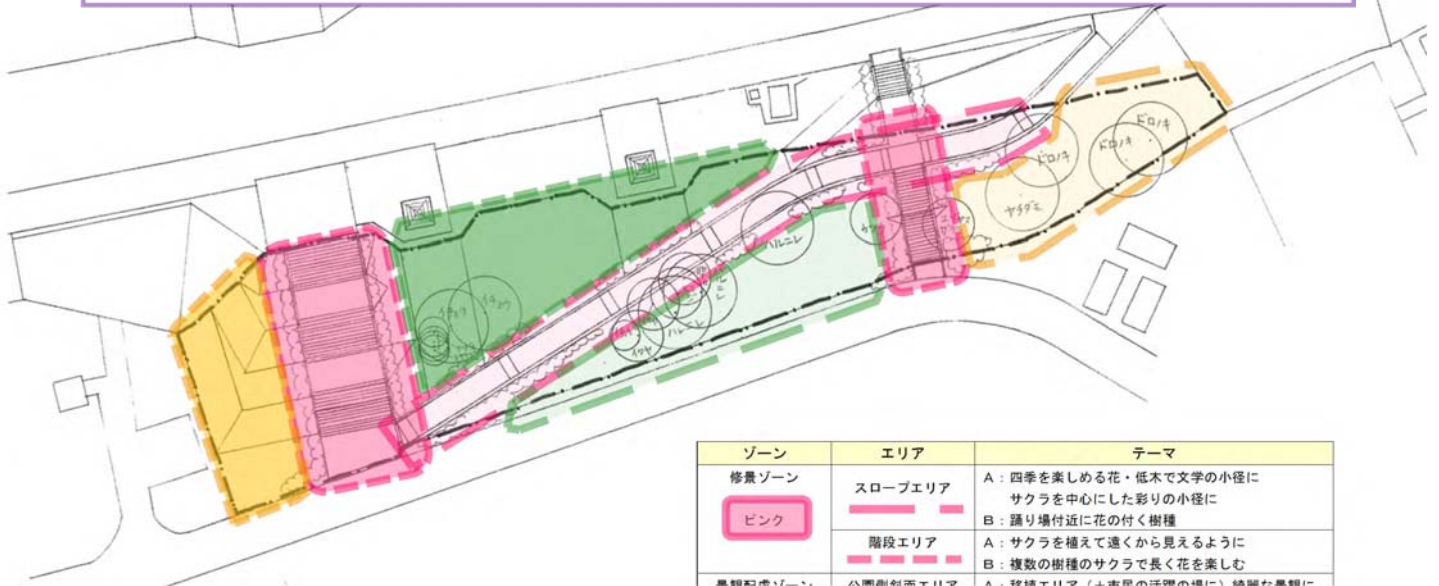
右写真出典：
 水源の森植栽レポート
 (石狩地域森林ふれあい
 推進センター)

4. 意見交換してほしいこと

植栽計画第3回市民ワークショップ 討議事項

- 合成平面図（試案）への植栽方針・
テーマ等への意見

全体方針：百年かけて育む、周辺と調和した彩り溢れる空間



ゾーン	エリア	テーマ
修景ゾーン ピンク	スロープエリア	A: 四季を楽しむ花・低木で文学の小徑に サクラを中心とした彩りの小徑に B: 踊り場付近に花の付く樹種
	階段エリア	A: サクラを植えて遠くから見えるように B: 複数の樹種のサクラで長く花を楽しむ
景観配慮ゾーン 緑色	公園側斜面エリア	A: 移植エリア（+市民の活躍の場）綺麗な景観に B: 踊り場付近に花の付く樹種を
	四阿側斜面エリア	A: 紅葉や実の成る樹種を B: 四阿付近に四季を楽しむ樹種を
動物配慮ゾーン 黄色	東斜面エリア	A: 管理をして大木に育てる（市民も協力） B: 入りにくい箇所には動物の住処となる樹種を
	西斜面エリア	A: 動物に配慮した樹種を B: シンボルツリーや動物の餌となる実のなる樹種を

合成案



保全木 20本 ×
 移植木 28本 ▲
 新植 40本
 計 88本

・小高木 29本 高木 59本